

1. 組織名

全国主食集荷協同組合連合会

2. 提出意見①

該当する交渉分野
物品市場アクセス

意見
農業生産基盤が比較にならないほど格差の大きい国から農産物が自由に輸入されることになれば、一気に農業者の経営は成り立たなくなり、米・麦等を中心とした日本の農業は衰退の一途をたどることに繋がりがかねない。**国の責任において完璧なセーフティーネットが構築されない限り、TPP交渉へ参加することに対して強く反対する。**

TPPに対する国民の合意を得ないまま、TPP交渉への参加が進められているが、**国会決議に基づき、米・麦等の「農林水産分野の重要五品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は」、即刻交渉から脱退するべきである。**

さらには、TPP交渉への参加を目指して関係国と事前協議が進められたが、相手国の都合を丸呑みしてまで参加を急いでいると映る。交渉が妥結しても4年間は内容を公表しないという約束もあり、国民は決められた内容を丸呑みせよと言われるに等しい。TPP交渉が妥結して実効が始まる前の防衛準備もできないことになり、国民の不安ばかりが大きくなっている。国民から信頼を得るためにも、**可能な限り、すべての情報を公開の上、具体的な対処策を措置することが必要だ。**

【参考】 TPP交渉における交渉分野

物品市場アクセス	原産地規則	貿易円滑化	SPS(衛生植物検疫)	TBT(貿易の技術的障壁)	貿易救済	政府調達
知的財産	競争政策	越境サービス	商用関係者の移動	金融サービス	電気通信サービス	電子商取引
投資	環境	労働	制度的事項(法律的事項)	紛争解決	協力	分野横断的 事項

※ 2つ以上意見を提出される場合は、「提出意見」の行をコピーの上、行を追加願います。